

| 研究課題 (テーマ)   |             | 面接指導を取り入れた物理学 I・II の再試験の実施 |       |
|--|-------------|----------------------------|-------|
| 研究者  | 所属学科等       | 職                          | 氏名    |
| 代表者  | 工学部教養教育センター | 教授                         | 福原 忠  |
|  | 〃           | 教授                         | 室 裕司  |
|  | 〃           | 准教授                        | 谷田 博司 |
|  | 〃           | 准教授                        | 三本 啓輔 |
|  | 〃           | 准教授                        | 柳 有起  |
| 研究結果の概要  |             |                            |       |
| <p>現在の物理学 I・II で扱われている内容は分野を問わず、工学を学ぶ学生にとって基幹となる科目である。それゆえその内容を十分に理解させることが必要であるが、学生の基礎学力の低下が進み、講義内容を自己学習できずに落第する学生が増えている。そのような学生に対して特段のフォローをせず、自己学習に任せたままでは必修科目である物理学 I・II の内容を理解できないまま不合格を繰り返すこととなる。また、再履修はその時間帯の 2, 3 年次配当科目を履修できなくなるので、履修に与える影響は深刻となるが、一方で、内容の理解に関係なく形式的に単位を与えるようなことは絶対にあってはならない。それゆえ、内容はきちんと理解させた上で、再履修にさせることなく、再試験によって一定の合格率を維持することが望ましい。</p> <p>当プログラムでは、補講や演習をただ行うだけではなく、学生指導員による面接指導を取り入れることにより、再試験生が物理学 I・II の内容を十分理解するように努め、追加補習および追試も含め、該当する学生全員が合格するよう努力をしている。</p> |             |                            |       |
| 今後の展開  |             |                            |       |
| <p>今後も、面接指導を取り入れた再試験により、専門教育に十分耐えられるだけの資質を獲得できるよう努力する所存である。</p>  |             |                            |       |